



HULFT クラウドストレージオプション Ver.8.5.1 リリース情報のご案内

2021/2/19

株式会社セゾン情報システムズ
HULFTビジネスユニット

HULFT クラウドストレージオプション リリース情報

■ リリース日

2021年3月3日

■ 主なリリース内容

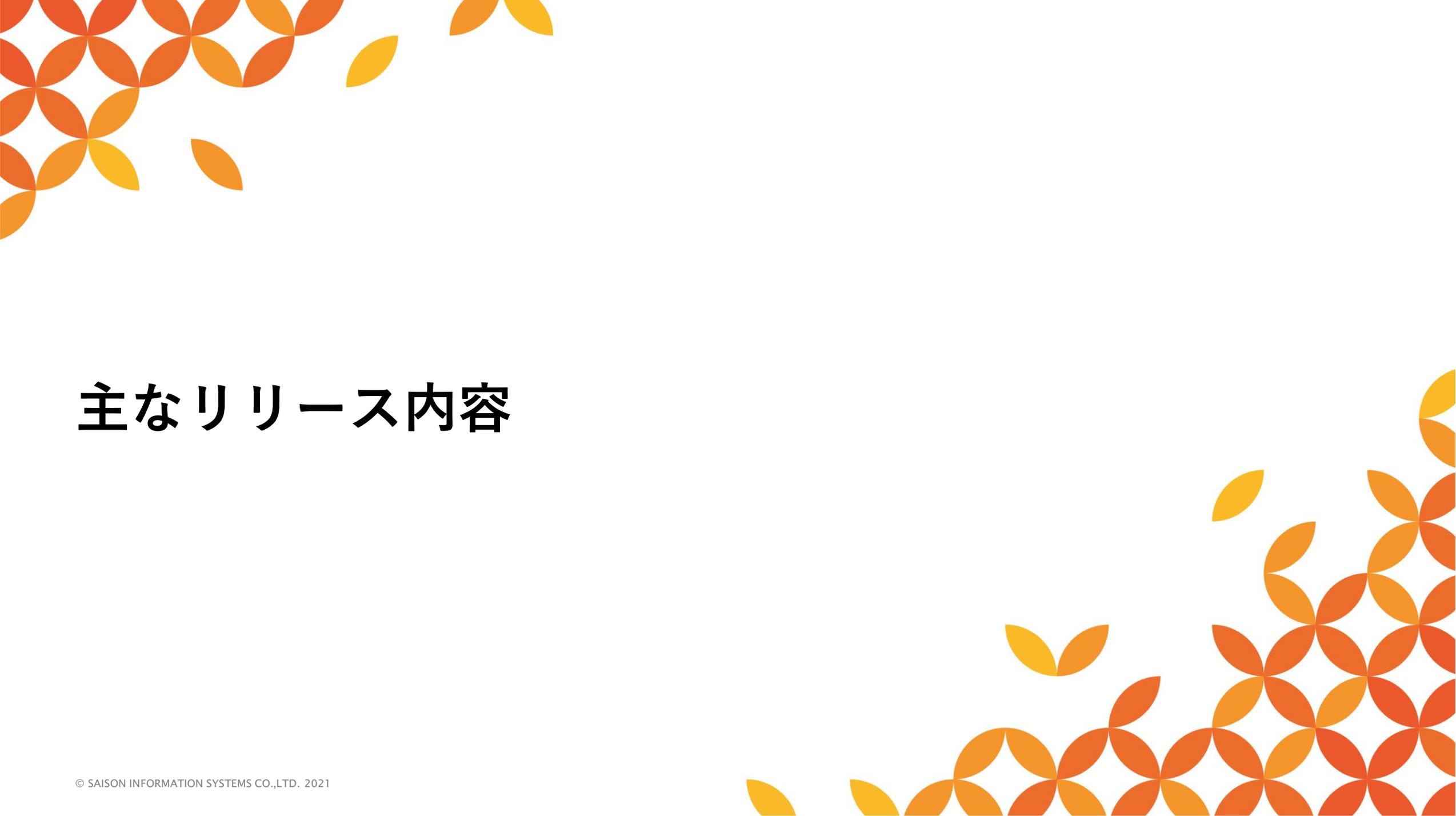
マルチユーザアカウントへの対応

運用環境に即したサイジングへの対応

■ 対象

HULFT8 Cloud Storage Option for Windows/Linux(S3/Blob/GCS)

※ HULFT8 Cloud Storage Option for Windows/Linux(S3/Blob/GCS)は、以下「CSO」と表記します



主なリリース内容

マルチユーザアカウントへの対応



ファイル転送単位でセキュリティ情報を管理できるようになるため、業務運用ごとに複数のアカウントを利用が可能となり、柔軟な運用設計が可能となりました。

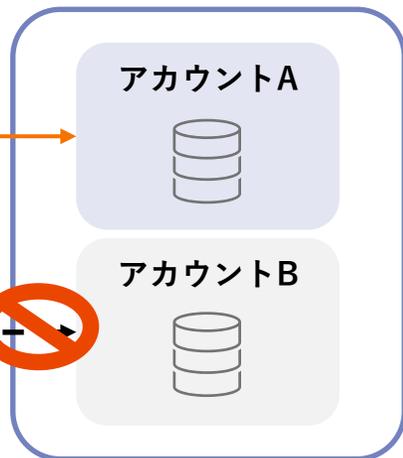
CSO 8.5.0

Hostサーバ



クラウドストレージの認証情報はOS環境変数に保持されます。そのため、ひとつのクラウドサービスに認証できるユーザアカウントは1アカウントのみとなります。

(例) AWS



Azure or GCP



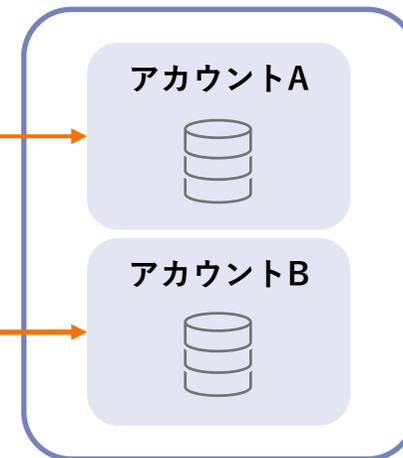
CSO 8.5.1以降

Hostサーバ



クラウドストレージの認証情報は外部DB（クラウドストレージDB）に保持されます。これにより、転送毎に利用アカウントを切り替えることが可能になりました。

(例) AWS



Azure or GCP



運用環境に即したサイジングへの対応



プログラム内に固定値として保持していた並列数やパートサイズについて、運用環境に即したチューニングをすることが可能になりました。

■ 変更可能となった設定値

| 設定値 | 概要 |
|--------------|--|
| ストレージタイムアウト | HTTPリクエストのタイムアウトになるまでの時間 |
| 1転送あたりの最大並列数 | 1つのファイル転送で並列アップロードまたは並列ダウンロードできる最大数 |
| パートサイズ | 1回の並列アップロードまたは並列ダウンロードあたりのパートのサイズ |
| ダウンロード全体並列数 | HULFTとクラウドストレージ間の並列ダウンロード処理において転送全体で使用される並列数の最大値 |
| アップロード全体並列数 | HULFTとクラウドストレージ間の並列アップロード処理において転送全体で使用される並列数の最大値 |

【参考】各種設定値の格納場所変更について

マルチユーザアカウントに対応するため、配信管理情報/集信管理情報の「ファイル名」に指定するパスの指定方法や、各種設定値の格納場所の変更を実施しています。

| オブジェクトストレージ種 | 配信管理情報の「ファイル名」に指定するパス | |
|----------------------|----------------------------------|--|
| | HULFT クラウドストレージオプション Ver.8.5.0以前 | HULFT クラウドストレージオプション Ver.8.5.1以降 |
| Amazon S3 | s3://バケット名/オブジェクト名 | s3://バケット名/オブジェクト名 または s3:// 配信ストレージ管理情報ID /オブジェクト名 |
| Azure Blob Storage | bs://コンテナ名/オブジェクト名 | bs://コンテナ名/オブジェクト名 または bs:// 配信ストレージ管理情報ID /オブジェクト名 |
| Google Cloud Storage | gs://バケット名/オブジェクト名 | gs://バケット名/オブジェクト名 または gs:// 配信ストレージ管理情報ID /オブジェクト名 |

CSO 8.5.0での各種設定値の格納場所

環境変数

- AWSアクセスキー
- AWSシークレットアクセスキー
- Azureストレージアカウント
- AzureストレージSASトークン
- Azureストレージキー
- Googleアプリケーション認証情報ファイル
- 使用リージョン

プログラム内の固定値

- ストレージタイムアウト
- 1転送あたりの最大並列数
- パートサイズ
- アップロード全体並列数
- ダウンロード全体並列数

CSO 8.5.1での各種設定値の格納場所

外部DB(クラウドストレージDB)

配信ストレージ管理情報ID

- バケット名またはコンテナ名
- ストレージ認証情報ID**
- 使用リージョン
- ストレージタイムアウト
- 1転送あたりの最大並列数
- パートサイズ

クラウドストレージオプションシステム動作環境設定

- アップロード全体並列数
- ダウンロード全体並列数

ストレージ認証情報ID

- AWSアクセスキー
- AWSシークレットアクセスキー
- Azureストレージアカウント
- AzureストレージSASトークン
- Azureストレージキー
- Googleアプリケーション認証情報ファイル



HULFT

Move knowledge. Move markets.